

『子どもにツケを残さない!』『環境未来都市の実現!』
所沢市議会議員 谷口まさのり発行

Facebook で細かく情報
発信しております!

谷口まさのり 所沢市政レポート

『2016年6月議会報告編』/8月27日(土) 谷口ミーティング案内編

連絡先: 〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話: 04-2941-5111 / FAX: 04-2941-5112

・メール: tani.eco@dream.ocn.ne.jp

・Twitterも頑張ってます!! 『谷口まさのり』で検索下さい!



子どもにツケを
残さない!!



谷口 まさのり

- ◆自然エネルギーの推進に向けた新たな枠組み(地域新電力構想:私案)を提言!
- ◆ミュージアム(市民文化センター)のエネルギーコスト(電気・ガスで年間8,500万円)削減を提言!
- ◆熊本地震の教訓を踏まえ、発災直後からの避難所への物資供給強化等の提言!
- ◆墓地問題(三ヶ島2丁目)の『違法伐採』に関連する問題を追及!

上述の一般質問(6/24)の詳細は所沢市議会HPより中継録画をご覧ください。

1) 自然エネルギーの更なる導入使用に向けた『地域新電力』構想の提言!(要旨)

現在と同レベルの電気代であれば、自然(再生可能)エネルギー電力を使いたいが、マンション住まいで物理的に太陽光発電を設置できない、あるいは設置する初期費用の問題で自然エネルギー電力を使用できないという一定程度存在すると考えられる市民等に対し、電気を供給できるよう、所沢市が民間企業等と組んで地域新電力を設立運営する構想を提案致しました。(下記の図を参照) 類似の仕組で自然エネルギーの割合をできるだけ高くする取組は既に福岡県みやま市、浜松市、鳥取市、太田市等で行われております。更に所沢市独自の枠組として、本構想に電気使用者として参加する市民・企業等から、例えば1kWh当たり1円を所沢市が進める自然保護や地球温暖化防止事業に資金として提供されるような方法を合わせて提言致しました。

■市からは、『市としても現在検討課題の1つとして調査を行っており、今後、マチごとエコタウン構想実現に向けて様々な取組み、事業に挑戦していきたい』との答弁を引き出しました。

所沢トロロ電力構想



* 一般質問当日のパネルから一部修正しております。ミュージアムソーラーは市民文化センター屋上を構想。

裏面へ

2) ミューズのエネルギーコスト(電気・ガスで現在年間 8,500 万円からの)削減提言!(要旨)

本年3月議会では、大規模改修費用(現時点で計約53億円を想定)の抑制の為、『コンストラクションマネジメント方式』を提言致しましたが、今回の6月議会では経常経費である電気・ガス代の省エネ対策によるコスト削減に焦点を絞って提言致しました。



←谷口: 現在平成31年度終了で大規模改修の予定だが、①今年度の『改修調査委託』(2,916万円)の進捗状況と今年度スケジュールは? ②大規模改修に際して、経常経費の電気・ガスなどのエネルギーコスト削減やCO2削減にも繋がる、省エネ対策についての考え方はどのようになっているか? ③昨年度のH27年度における、電気、ガス、上・下水道の費用は?

市民部長: ①受託事業者は既存資料を基に現地調査を行っており、9月に中間報告、年内に全ての調査報告を受け取る予定にしている。②まちごとエコタウン構想の観点からも、当然ながら省エネ対策としてのエネルギーコスト削減も検討すべき項目の1つと考えている。③電気6,665万円、ガス1,850万円(電気とガスで計約8,500万円)、上水354万円、下水233万円となっている。



谷口: 6月7日に現場を案内頂き、省エネの簡易診断を行ってきた。(谷口自身、省エネ関連企業に5年間在籍し、知見あり)冷暖房の為、冷水・温水を送るポンプや冷やされたり温められた空気を送るファン・ブローアの空調設備を含めて、省エネ、コスト削減に繋がる手法が多く残されていると考える。(インバーター等という省エネ手法) また余裕をみて設定している契約電力の切り下げ(電気系の省エネ実施後は更に)による契約電力料部分の大きな低減も期待でき、自身の経験では専門の省エネ企業を関与させることにより、年間2,000万円以上の電気・ガスのコスト削減も可能ではないかと予想している。所沢市役所本庁舎で既に実施している初期投資ゼロでの省エネ・CO2・コスト削減の枠組み(ESCO: エスコ方式)も選択肢の1つに入れながら大規模改修と並行しながら進めるべきと考えるがいかがか?

市民部長: 改修を行う上での優先順位、費用対効果、文化施設として求められる美観や性能を勘案しながら効果的な手法を鋭意検討していきたい。

*私、谷口としては本件について成果が出せるようベストを尽くします!

- 3) その他、熊本地震を教訓として、所沢市で同様の避難者が出た場合、発災後3日間の初動体制の強化や市外からの支援物資は市外での仕分けの提言を、また
4) 三ヶ島墓地問題では『違法伐採』について、計画事業者の今後について厳しい指摘を行いました。

8 / 27 (土) 谷口まさのり所沢タウンミーティング



『所沢市でこのような取組をしたら良いのでは?』というアイデア等をお聞かせいただく場としたいと思います。ミーティング後は別会場、会費制で交流会も予定し、引き続き『熊本九州応援』『東北復興応援』として被災県食品も揃えて開催します。

◆8/27(土)15:20~16:45(ミーティングは無料)◆狭山ヶ丘コミュニティセンター2F(18席)

◆谷口まさのり経歴・昭和40年北海道生まれ、埼玉大学工学部 環境化学工学科卒業・環境や省エネ企業に15年間在籍・1997地球温暖化防止 京都会議に参加・2011年4月所沢市議選に初当選、現在2期目・趣味等: スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員)、カラオケ、カブトムシ採り、大のビール党、日課はタカのエサやり・環境カウンセラー(環境省資格)/社会保険労務士(年金と雇用の関連資格)/認知症サポーター★駅では原則、始発前からポストを配布しており、『始発の谷口』『始発男』と言われております。